



広報 えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



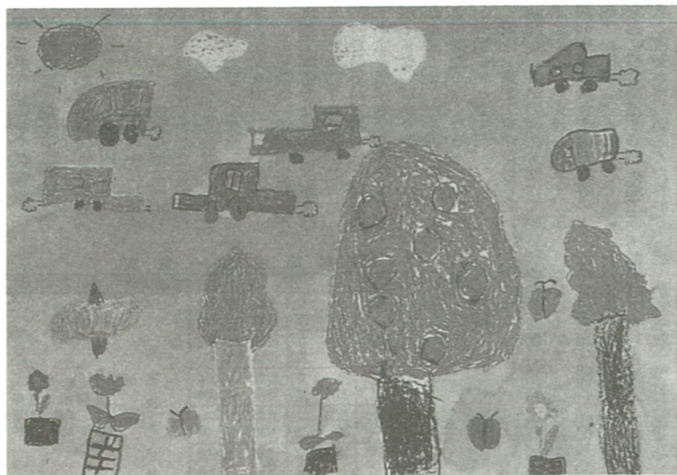
続けよう平和の輪

新年を迎え、さらに新たな気持ちを持って、平和の輪が、づくりを続けていきたいと思います。今年一年、平和で過ごしやすい年でありたいように。(写真は中新田保育園児によってつなげた千羽鶴)

一羽一羽に願い込めて



平和への願いを込めた折鶴1万5千羽がつながりました。
海老名市が「平和都市宣言」をしてから10年が経ちました。昭和60年12月17日、海老名市議会において全議員の賛成を得て宣言されたこの「海老名市平和都市宣言」は、世界の恒久平和を願う全人類を戦争の恐怖から解放し、幸福と平和を希求する多くの市民皆様の声を集めたものです。
去年は、終戦50周年の節目の年でもあり、全国で数々の平和に関連する行事も行われましたが、海老名市でも去年12月17日に市文化会館で「平和のつどい」を開催し世界平和理論の講演会や映画上映など、10周年行事とともに開催しました。
この会場で、市民の皆様の平和への願いを込めて寄せられた折鶴、約1万5千羽が15束の千羽鶴になって飾られました。
この折鶴は、去年7月29日、「ふるさとまつり」会場で「平和折鶴コーナー」を設け市民の皆様が平和への願いを込めた折鶴をお願いして以来、市内のコミュニティセンターなど9カ所で開催した「夏休み親子平和映画会」、また、市庁舎にコーナーを設け来場の皆様が願いを込めて作成したものです。
一羽一羽でいねいに折られた鶴、小さい折鶴が集まってたくさん千羽鶴ができました。



こんな"まち"住みたいな

今年、海老名市は市制25周年を迎えます。そして同じく、柏ヶ谷保育園(服部トミ子園長・園児21人)も開園10年を迎えます。そこで、新年にあたり、年長のかめ組・園児19人に「未来の海老名市」をテーマに、クレヨンや絵の具で絵を描いてもらいました。

子どもたちは、リンゴの木や花など、緑がたくさんあるところに住みたいようです。また、車が空を飛んでいくのは、道路をつくると、緑がなくなってしまうと思っているからだそうです。

着実な

子年の人に聞きました

子年生まれの方は、正直で温厚篤実、几帳面できれいで好きだそうです。また反面、物を貯め込み捨てられない性質で、考え事が多く、くよくよ悩むことがあるそうです。ここでは、一世代のなかに世代の違う子年生まれが3人いらっしやる、市内3家族の方々に、去年1年間の感想・自分の性格・今年の抱負を伺ってみました。

健康で家庭円満が一番!
中野 博さん
(明治45年生まれ)

「去年は、事件や事故の多い暗い年といわれましたが、私自身は健康で、谷川岳へ紅葉を見に行ったり、社寺仏閣を歩いたり、小さな旅を楽しめた良い1年でした。今年も夫婦で遊



写真左から中野順子さん、博さん、栄子さん

「去年は旅行業取扱資格を取りたい」と話しています。二女の千賀子さんは、どちらかという短気な性格が大好きです。去年は少年野球が大好き。去年は少年野球が大好き。去年は少年野球が大好き。

家族全員でスポーツ楽しむ

「去年は家族全員が何事もなく安泰に過ごせました」と話すのは、小林順一さん。性格は、堅実派で、物をため捨てられないところがあるそうです。海老名に来て約8年になりますが、自然があつてとても住みやすいです。将来は二軒建ての家を持ちたい。

双子で長女の三賀子さんは、父親に似て物ため込む性格で、慎重派だそうです。スキー

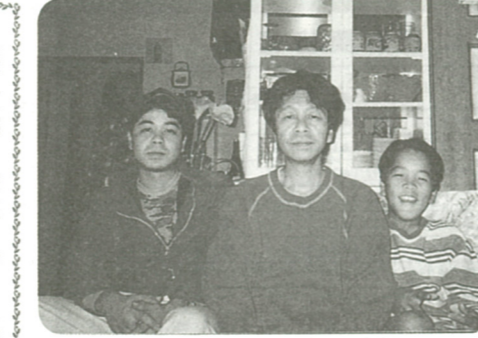


写真左から小林千賀子さん、順一さん、三賀子さん

「去年は仕事が多く、とても忙しい1年でした。今年は、忙しい中にも子どもたちと話したり、遊ぶ時間を去年以上に増やしたいです」と話すのは、玉城雅夫さん。性格は、判断力があり、慎重派。

海老名が第2のふるさと

「去年は仕事が多く、とても忙しい1年でした。今年は、忙しい中にも子どもたちと話したり、遊ぶ時間を去年以上に増やしたいです」と話すのは、玉城雅夫さん。性格は、判断力があり、慎重派。



写真左から玉城雄一さん、雅夫さん、雄作さん

「去年は仕事が多く、とても忙しい1年でした。今年は、忙しい中にも子どもたちと話したり、遊ぶ時間を去年以上に増やしたいです」と話すのは、玉城雅夫さん。性格は、判断力があり、慎重派。

"ねずみ、あれこれ"

人間は、昔からネズミの害に悩まされてきた。ネズミは農作物を荒らし、イネネズミは貯蔵食糧を食べてしまいます。しかし、ネズミの仲間でも、ハムスターなどの種類は、実験動物として医学の進歩には欠かせません。

身近な動物だけに、ことわざにも登場します。弱者でも追い詰められると思いがけない力を持つ「窮鼠猫を噛む」や、前ぶれの騒ぎばかり大騒ぎして、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山崩動して塵も動かない」他には「頭の黒い鼠は鼠の嫁入り」などがあります。

さて、子年は十二支のトップ。去年は、天災や事件の多い暗い年でしたが、今年には気分一新して、明るく良い年になることを願います。

歩み 輝かしい未来



ねずみの知恵

十二支のはなご

中国の古い話に、天子様が重い病氣になつて國務がなくなつたので、天帝が心配して、天から薬を投げた。それが、病人に薬を与えるのを「投薬」というようになった。その時、早く薬をさがし出して天子様に差し出したのは、ねずみだった。

ねずみの素早い行動によって、天子様の病氣が吹ちまわって回復したので、天帝はその功績をお褒めになつて、小さい体のねずみを十二支の仲間に入れて、人間の蓄えた食糧を自由に食べることがお許しになったのだという。天帝が投下された薬を、ほかの動物たちが夢中になつてさがしているのに、猫だけは眠つたふりをしてさがそうとしなかった。天帝は、「お前は怠け者で役に立たないから大事な仕事はさせられない」と十二支から外されてしまった。それ以来、猫はねずみを追うらみして姿を見えさせず、ばば追ひ掛けるようになったのだ。

大正時代の小学国語読本に、ねずみの知恵という話があった。仲間のねずみが次々に猫に捕られるので、これを防ぐ方法はないかとみんなで考えた末、猫の首に大きな鈴をつけて、その音がしたら逃げることに相談がまとまったが、さてその鈴を誰がどうつけるかは考えなかったという。ねずみの知恵の足りなさを風刺したのだが、浅知恵どころか、あの小さな体で象も及ばぬ知恵を持っているというところから、外形だけで判断や評価をするものではない。

ねずみが出入りする穴を栗の殻がで塞いで通れないようにしたら、みんな外れられてしまったが、向こう側に栗の殻が沢山あったので、

で、鉄かぶつのように冠して押し出したものと分かった。また、冬場の仕事が終わる時、時々塗るため、菜種油を小さな瓶に入れて道具箱のすみ立てておいたが、いつも空っぽになるので不思議に思っていたら、覗き込みが尻尾を入れては子ねずみに詰めさせていた。何れにしてもその知恵には、舌を巻くことはない。

ねずみは、大黒様のお使いとも言われて勤勉と貯蓄の奉仕とされているが、食糧を貯蔵するたくましさは、学ばせたい。落花生などは、地中にあるうちに、完熟したものを順に自分の地下倉庫に運んでしまうので、収穫の時期が遅れると全く実のついていない株になってしまうことがある。貯えもせず無計画に有るにまかせ消費して、バブルがはじけて果敢とするなどは、ねずみに対しても恥ずかしい限りである。

年寄りによく「ねずみを仕掛ける時は、黙ってやれ、ねずみに聞かれてしまうと効果ないぞ」といったが、冗談ではなく、人の動きや気配で身の危険を感じると不思議な能力を持つているもの。阪神の大震災を予知したと思われる行動が沢山報告されている。ただ、関東大震災の折も、ねずみが急いでなく、足音をかき立てたとか、異状行動を度々耳にした。

鯨と地震の話は古くからあるが、ねずみと地震の研究がもっとよいためにはなからうか。地震研究の学者よりも、ねずみの方がよく知っているかも知れない。

この話は、小島重司さんが執筆された。

地域の「つながり」完成へ



あゆみ橋

成月
完2

海老名・厚木両市を結ぶアーチ橋の名前が、あゆみ橋(はし)に決まりました。両市合わせて、千71通の応募があり、橋名審査会の審議の結果、「あゆみ橋」と決まりました。この名前に含まれている意味としては、「海老名・厚木両市が互いに歩みよる。現在・未来へと海老名・厚木両市が互いに発展し、歩み続ける。相模川のアユが見続けられる」との願いが込められており、親しみやすさからひらがなを採用しました。

なお、「あゆみ橋」の名前の応募者21人の中から抽選で、市内社家に住む主婦、蕪木(かぶき)和子さんが命名者に決まりました。



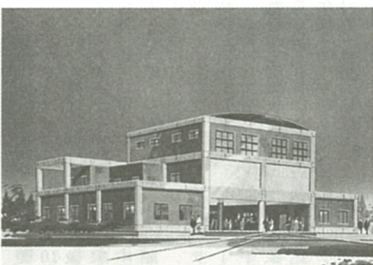
この橋の工事は、平成4年10月から本格スタートし、2月1日の開通予定で工事が進められています。全長は236m・幅員9・5m(車道7m・歩道2・5m)。今後、名前とともに両市民から親しまれ愛される橋となることでしょう。

社家コミセン

成月
完3

昭和61年に柏ヶ谷地区に第1号館が誕生して以来、市内9館目のコミュニティセンターで、社家・今里地区を対象とし、地域の交流の場として地域社会づくりの役割を担うものです。運営は他の地区と同様に、地域の人たちで組織される、管理運営委員会によって自主的に行われます。

場所は東名高速道路の北側、社家岨番地です。建物は、鉄筋コンクリート造り2階建て、東側外壁のレリーフと、館内の相模川からの眺望を描いたパンチングとが、訪れる人々の目を和ませてくれることでしょう。1階には集会室、学習室、実習室、2階にはレクリエーション室などを設けみなさんに利用していただきます。



医療センター

成月
完3

地域医療の充実、在宅保健医療の推進施設として、海老名市医療センターが3月末に開館します。ここでは、内科・歯科の休日診療をはじめ、内科の夜間診療を行うほか、高齢者保健福祉サービスの拠点として、訪問看護ステーションや、家庭での介護の指導・相談等を行う、在宅介護支援センターを設置します。

そのほか、病院・診療所との連携、保健医療に関する情報収集や、医療・介護の研修の場としても活用します。場所は、さつき町41番地、今まで市健康センターがあった所に建設されます。建物内の特徴として、病原菌などの感染を防ぐため多くの床材、手すりなどは抗菌処理されています。



かしわ台跨線橋

予定
9年3月
完

相模線かしわ台駅西側に隣接した、かしわ台跨線(こせん)橋改良工事は、平成9年3月の完成を目指して行われています。

この橋は、今まで長さ70m、幅5・8mでしたが、完成後は、長さ170m、幅12・5mと長さに拡張され、道路両側に歩道が設けられて、大型車も通行できる近代的な橋に生まれ変わります。

